

マイナンバーカードを用いた 新車登録手続のデジタル化実証実験

実証概要

■背景・目的

日本の自動車購入における諸手続・法制度は、戦後のモータリゼーション黎明期に整備され、当時の社会情勢を反映した手続の幾つかは今日まで続いている。現在の日本は、人口減・高齢化・人手不足といった構造的な社会課題に直面している一方、デジタル化が進展し、多くの分野でマイナンバーカードを用いた手続簡便化が進み、利便性が向上している。

昨年、自動車購入時の諸手続についてユーザー調査※を実施し現在の課題を浮き彫りにしたが、今回、その結果を踏まえマイナンバーカードを用いて購入手続を効率化する実証実験を行い、ユーザー、行政、産業それぞれの視点でメリットや課題確認をする検証を行う。

※リンク⇒[車両購入手続きにおける諸手続きのDX化に関する調査結果](#)

■概要

※一部検討中のものを含む。詳細は4月公表予定

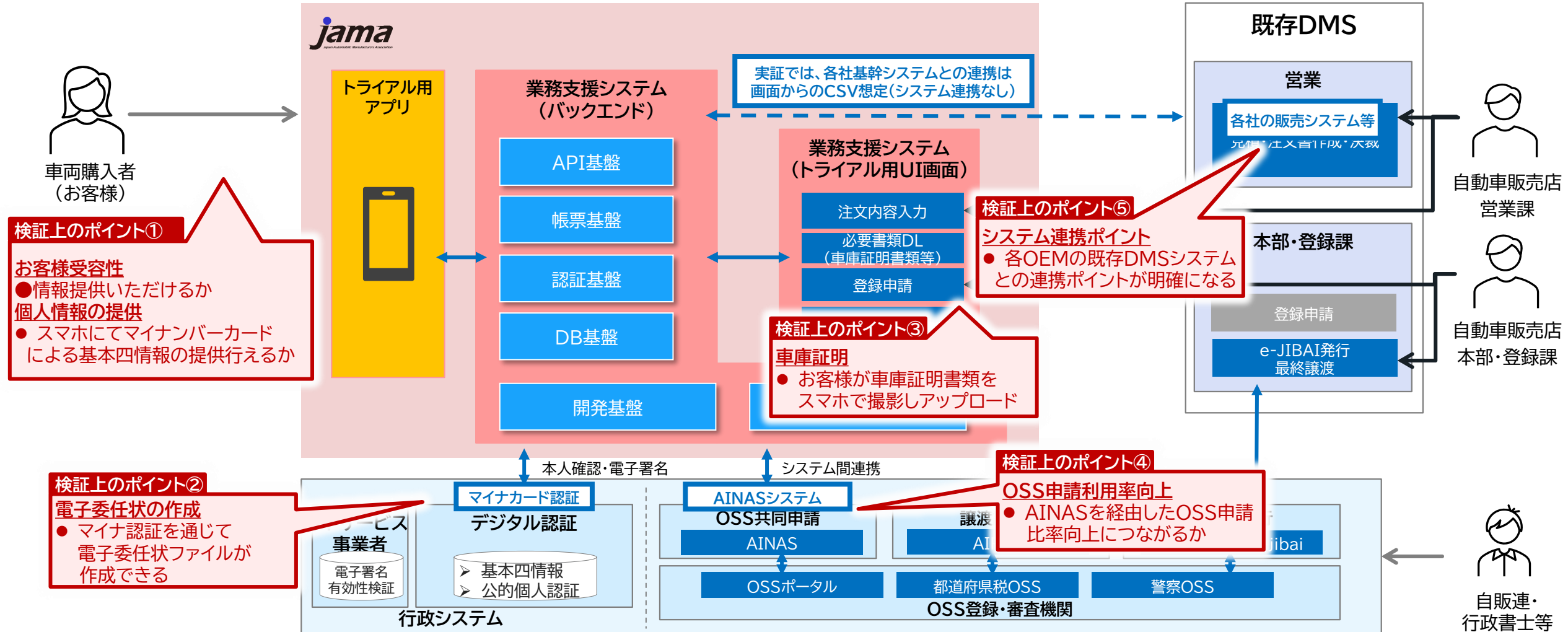
実施内容	クルマ購入手続きの一部をデジタル化。具体的には、ユーザーがマイナンバーカードを用い本人確認と委任状を作成。及び、保管場所証明関連書類をユーザーがスマホで撮影しアップロード
実施地域	埼玉県
実施期間	2026年4～6月
対象ユーザー	新車新規登録 個人ユーザー ※マイナンバーカード所有などの限定あり
対象メーカー/販売店	埼玉スバル株式会社、株式会社日産サテオ埼玉
運営主体	一般社団法人 日本自動車工業会

* 本実証実験は国土交通省のデジタル化推進方針と合致しており、実証結果は今後のデジタル化推進の一助として活用予定

今回実証のアーキテクチャイメージ

全体のアーキテクチャと主な検証ポイントは以下の通り

※検討中のため、実際の内容とは異なる場合があります。



サインイン

手続きの流れ説明



STEP1:マイナカードによる電子委任状作成（本人認証+本人署名）

電子委任状作成

署名（印鑑証明証の代用）



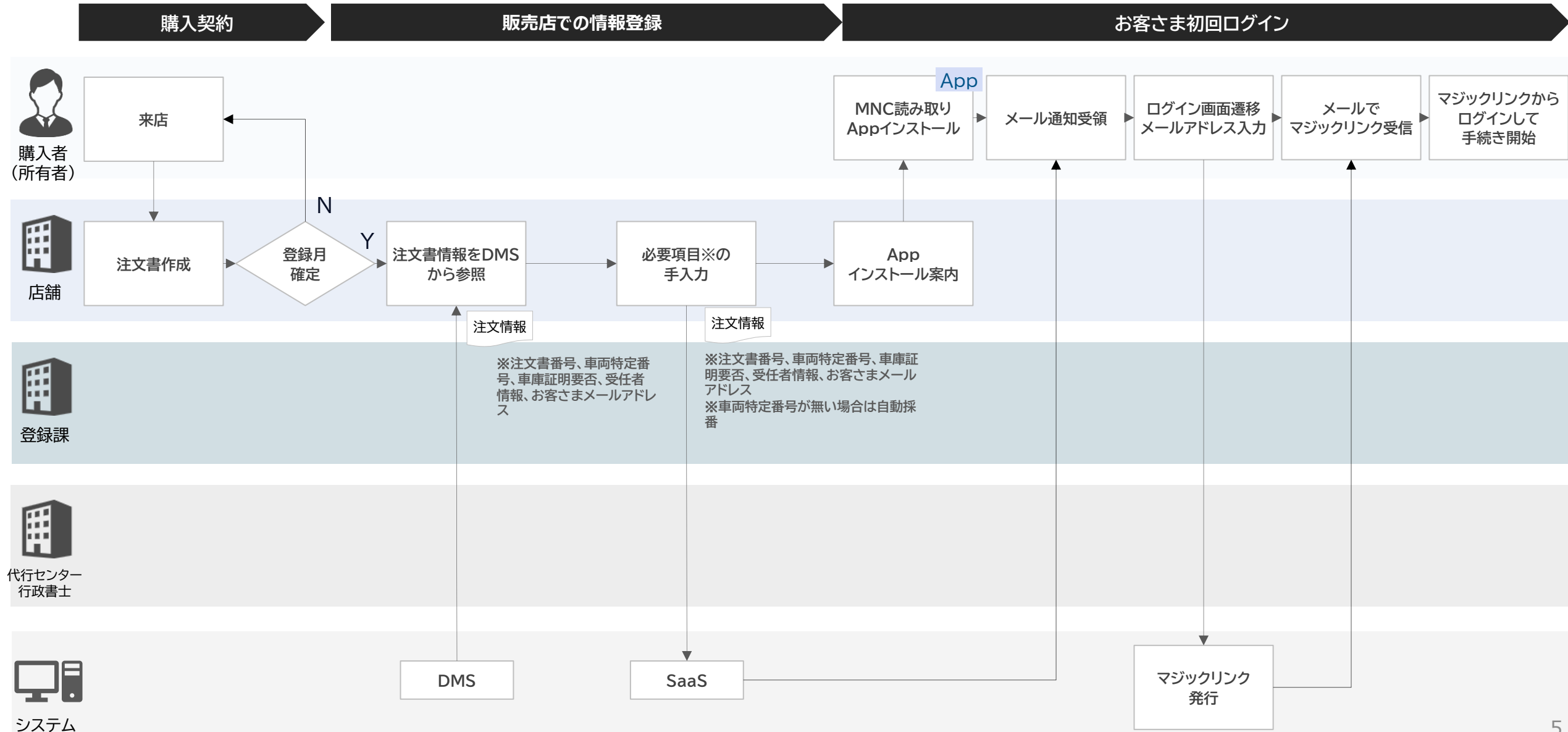
STEP2:保管場所書類作成

システム連携



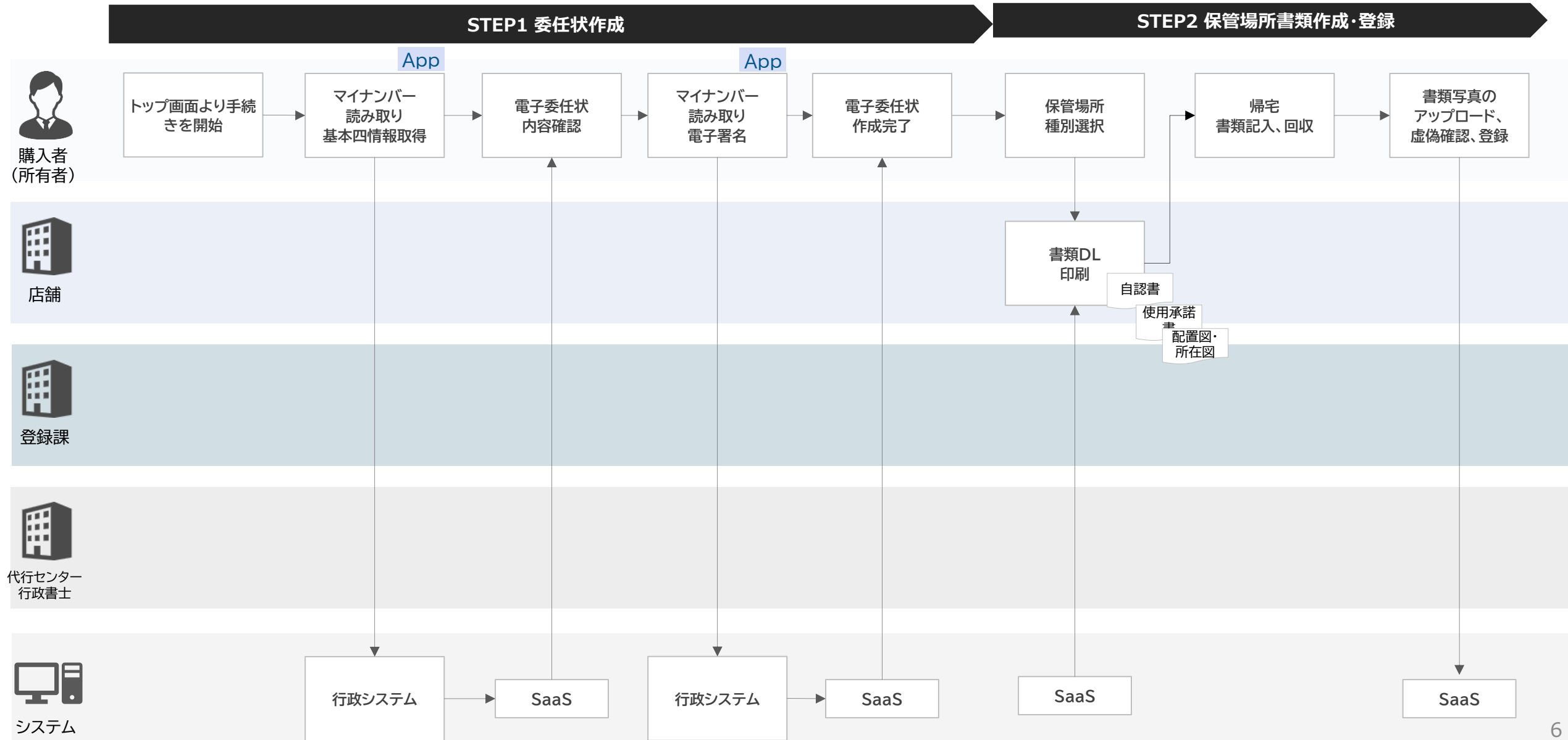
手続きの流れ(イメージ)

※検討中のため、実際の内容とは異なる場合があります。



手続きの流れ(イメージ)

※検討中のため、実際の内容とは異なる場合があります。



手続きの流れ(イメージ)

※検討中のため、実際の内容とは異なる場合があります。

Step3 システム連携

